

SSH モンゴル海外研修報告

2025



参加者

1年生:4名 2年生:9名 計:13名

はじめに | なぜモンゴルか？

- ①モンゴルは、“草原”がバイオームの大半を占めている。
生息する植物や動物、生活の様式、考え方などが大いに異なることが予想され、日本という国を対照的に見ることができるのではないかな。
- ②文理双方の視点から、今回の旅を通じて物事を考えるきっかけが掴めるのではないかな。
- ③欧米に出かけるのに比べ、費用が圧倒的に廉価である。

活動

【事前学習】 生徒/保護者対象

- 7/9(水) 筑波大学名誉教授 中村 徹先生 「モンゴルの自然」
名鉄観光 吉井茂人氏 「モンゴル旅行の注意点」
7/14(月)松岡 孝先生 「モンゴルの歴史」
7/18(金)東京外国語大学 幸松英恵先生 「モンゴルの主要な開発課題」
同大学大学院 ググワルジー・マラルマー氏 「モンゴル国民の意識」

【研修旅行】 行程

- 8/15(金) 成田空港出発(14:40) ⇒ ウランバートル空港着(18:05)
8/16(土) ウランバートル市内
8/17(日) ホスタイ国立公園
8/18(月) ホスタイ国立公園
8/19(火) テレルジ国立公園
8/20(水) テレルジ国立公園
8/21(木) ウランバートル空港出発(07:45) ⇒ 成田空港着(13:15)

1日目 ウランバートル市内

①スフバートル広場 ②モンゴル国立博物館 ③国立自然史博物館



2日目 ホスタイ国立公園

①草原の動植物の観察 ②石人、鹿石の見学 ③星空の観察



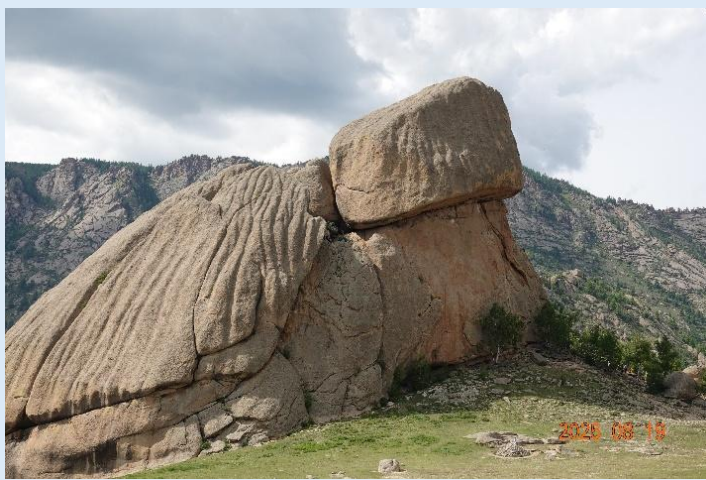
3日目 ホスタイ国立公園

①草原の植生調査



4 日目 テレルジ国立公園

- ①アリヤバル寺院、お花畑の植物観察 ②亀石見学 ③遊牧民の生活見学
[馬頭琴の演奏、馬乳酒の作り方、ゲルの組み立て、民族衣装の試着]
④星の観察



5 日目 テレルジ国立公園

- ①お花畑の植生調査 ②河畔林の観察 ③乗馬体験 ④サイザン丘



生徒の感想 〈抜粋〉

【3 日目】

- ・ゲルの軽量で折り畳み可能な構造、風向きや寒暖への工夫が印象的だった
- ・家畜を肉だけでなく革・内臓・毛まで全て利用する工夫に驚いた
- ・家畜を「資源」だけでなく「家族の一員」と考える文化に感動した
- ・ゲルの中で聞いたホーミーが力強く響き渡り、発声法や起源に興味をもった
- ・モンゴル料理の酸味の強さに驚いた（調味料をほとんど使わないことが理由だと気づいた）
- ・乳製品の保存や加工方法（発酵・燻製・乾燥）に工夫があり、バリエーションの多さに感心した
- ・民族衣装は暖かく、着脱のしやすさから普段着として適していると感じた
- ・草原で植物の多様さと動物のフンによる土壌との関係に気づいた
- ・馬頭琴とホーミーの迫力に感動し、伝統芸能継承の大切さを実感した

【4 日目】

- ・雨が降ると朝晩のように冷え込み、日本との気温変化の違いに驚いた
- ・テレルジのリスは人をあまり怖がらず、ホスタイの野生動物との違いが印象的だった
- ・生物で学んだ極相林を実際に観察でき、日本との違いも感じられた
- ・北側斜面に植物が多く生えていることから、雨や地形と植生の関係を体感できた
- ・乗馬体験で目線が高くなり、馬を通じて草原とつながっているように感じ感動した
- ・イネ科植物の違いを見分けることに興味を持ち、先生に質問する中でさらに探究心がわいた
- ・ウランバートルの排水機能や道路の劣化を見て、都市の整備状況について考えた

モンゴル研修を終えての感想 〈抜粋〉

- ・草原の植物を「草」と一括りにせず、動物の噛み跡や水辺の多様性など、**背景に隠れた情報を読み取れる**ことに気づいた
- ・**モンゴルと日本の生態系の違い**、特に猛禽類の多様さと大きさに驚いた
- ・自然史博物館でタルボサウルスやオヴィラプトルなど実物化石を間近で観察し、**恐竜大国モンゴル**の迫力を実感した
- ・「当たり前」と思っていた**日本の便利さや技術の発展**に気づき、海外に出ることで自国の良さを再発見できた
- ・星空や広大な自然に感動し、花畑をただ「きれい」と見るだけでなく、**植生の細部にまで意識を向けられるようになった**
- ・モンゴルの都市にも独自の美的感覚や装飾があり、**偏見が覆された**
- ・気候や植生、食文化などが国ごとに大きく異なることを体感し、**自然の合理性や人々の工夫に感心**した
- ・モンゴルの気候変化や砂漠化の問題から**地球温暖化**について考えさせられた
- ・民族衣装や髪型・風習の変遷を通じて、**歴史と文化のつながり**を知った
- ・**海外の人と英語で交流する楽しさ**を実感し、進路や探究へのモチベーションにつながった
- ・モンゴルでの星空観察や草原での体験を通じて、「地球市民」としての自覚を持ち、**文化や自然を未来に残す大切さ**を考えた

【ワードクラウド分析】

スコア(その単語の重要度×出現頻度を AI が分析)が高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさと色で図示しています。単語の色は品詞の種類で異なり、青色が**名詞**、赤色が**動詞**、緑色が**形容詞**、灰色が**感動詞**を表しています。

